

# 2017年（平成29年）度事業報告書

（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

## 特定非営利活動法人ほしはら山のがっこう

### 1 事業の成果

#### <主催の体験事業>

前年度にひきつづき体験事業では、年間を通してふるさと自然体験塾（三次市青少年体験活動補助事業）「おいしい楽校」「かけっこスクール」「防災子どもキャンプ」を開催した。また、新規事業として若者×ツナグバ（マツダ財団助成）「大人の林間学校」を開催した。

#### ■おいしい楽校

「おいしい楽校」では、広島市・福山市・三次市など、主に県内の青少年や乳幼児連れの親子を対象に、食農教育・ふるさと環境教育・都市農村交流の場を提供し、述べ303名の親子が参加した。今年は天候に恵まれ、おいしいお米を収穫できた。新しい親子参加者をリピーターの親子がリードしてくださった。主に幼児から低学年の子連れ親子が参加し、海外の方（大人）も来られる会もあり、楽しい交流が行われた。

#### ■かけっこスクール

自然を感じながら気持ちよく走れる、全身のバランスの取れた体づくりを行う「かけっこスクール」3年目を行った。親子述べ218名（15回開催）が参加した。他の行事に比べ三次市内の親子参加が多い。ふるさとの自然豊かな地域性を活かし、野外遊びによる体づくりを発信する事業として今後も継続していきたい。今年は2回行事と大雪が重なりやむなく中止となった。参加しやすい場所設定など工夫をしていきたい。

#### ■防災子どもキャンプ

外灯のない夜の真っ暗な環境や汲み取り式トイレ施設・避難所施設である体育館がある環境を生かし、また農村の防災力に注目した事業として「防災子どもキャンプ」2年目を9月（防災月間）と3月（3・11）に実施した。1回目が台風襲来と重なり、やむなく中止となった。3月は17名の小中学生が参加した。特に三次市内からのリピーターが多く、リーダーとなって初参加の子どもたちをリードする様子が見られた。今後も子どもたちが学び合いのなかから「生きる力」を育み、いざという時に備える学びの機会として継続していきたい。

#### ■大人の林間学校

マツダ財団と共に、3団体（志楽蝶：府中町、三次おやこ劇場：三次市、当法人）と若者×ツナグバ事業を行った。青少年の最終ステージともいうべき「社会人になる直前の若者」「社会に出て間がない若者」は今の社会に対して大きな希望を抱いているとは決して言えない状況ととらえ、若者一人ひとりが社会情勢を正しく認識したうえで、多様な考え方から自分が納得できる生き方を見つけ、その潜在力を高め、選択肢を増やし、希望に結び付けていくことを目的として、共同で場づくりを行った。当法人では「大人の林間学校

(1泊2日)」を4回実施し、各回約6名の若者と「自然・地域・対話」をつなぐ活動を実施し、様々な背景を持つ若者が対話を通して自己を見つけ出す場を提供した。また他団体との意見交換会が年間を通して行われ、現代の若者の新たな居場所について考える機会となった。若者を対象とした初めての事業となった。

#### <校舎利用・体験プログラム提供>

前年度にひきつづき、体験交流宿泊施設「旧上田小学校」で、日帰り・宿泊利用受入と体験プログラムの提供を行い、地域住民をはじめ各種教育団体・子育て関連団体や一般市民の交流やふるさと体験、野外活動、環境教育推進、青少年育成、スポーツ合宿への協力を行った。また上田体育館の利用受入を通し、スポーツによる健康増進やレクリエーションの場の提供を行った。

旧上田小学校区の住民による年二回の校舎校庭環境整備、地域住民の利用者に対する温かい声かけや交流がリピーターを呼んでいる。今後も地域と連携し、施設をより多くの方に利用いただけるよう活動をしていきたい。

#### ■校舎利用

前年度（利用者数 1901 名／延べ 2818 名・宿泊利用述べ 866 名）に対し、2017 年度は利用者数 1833 名／延べ 2680 名・宿泊利用述べ 738 名であった。豊かな自然と屋内体育館があることを活かしたご利用をアピールし、引き続き多くの方に活用していただけるよう活動していきたい。三次市観光宿泊・スポーツ合宿助成事業（4年目）のクーポンは大変喜んでいただいている。

施設整備面では、三次市により玄関付近のシロアリ駆除と窓枠修理、水道管破裂修理が行われた。

体育館は三次市より管理受託を行っている。年間 21 回 742 名の利用であった。より多くの方に活用いただけるよう三次市と力を合わせて活動していきたい。

#### ■体験プログラム提供

前年度に引き続き、小学校 4 校（2 組）の 3 泊 4 日「山・海・島体験活動」（広島県）やご利用団体に「民泊・星空観察・沢登り・ドラム缶風呂・キャンプファイヤー・絵手紙」体験を提供した。

備北観光ネットワーク協議会によりモデル企画された親子日帰りツアーでは「備北コードモトフィールド」として夏休みのキャンプ体験を受け入れる予定であったが、台風で中止となった。

#### ■他団体との連携事業

前年度に引き続き、みよし田舎ツーリズム協議会会員として、三次市のグリーンツーリズム（特に体験教育旅行）の推進ワークショップに参加した。また三次市観光宿泊・スポーツ合宿助成事業に参画し、三次市での観光宿泊およびスポーツ合宿者呼び込みキャンペーンへ協力した。

指導者育成団体との連携事業として、引き続き、ふるさと体験コーディネーター共育塾の宿泊研修の主な実施地となり、年間を通じた研修企画などの協力をした。これは地域のつながりや豊かな自然のある社会と子どもの教育を関連付けた指導者研修会で、地域の方々や近隣の体験指導者にご協力いただいたり、また地域行事に交流参加したりできることに魅

力を感じていただいている。

共催事業としては、7泊8日キャンプ（自遊人楽校主催）、みよし風土記の丘体験事業（広島県立民俗資料館主催）を実施し、各団体の事業推進に寄与することができた。

また会員団体の体験活動への協力として、「広島さとやまシェアリングネイチャーの会」の事務局支援を行った。

#### <地域デザイン事業>

新規事業として、地域をコミュニティーデザインの視点から盛り上げる活動がスタートした。今年度7月21日、川西地域に「川西郷の駅」がオープンし、住民参加型で地域を盛り上げる活動としてひろしまさとやま未来博2017（広島県ココロザシプロジェクト補助金・三次市地域力向上支援補助金）に参画し、「川西の歌」を制作、合唱隊を結成し延べ546名が活動、様々な場所で発表した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数 (延べ人数)	受益対象者の範囲及び人数 (延べ人数)	事業費の金額 (単位：千円)
ふるさと自然体験活動事業	主催イベント ①「ふるさと自然体験塾おいしい楽校」…お米や蕎麦など食と農と自然のつながりを体験型で学ぶ、主に親子対象の年間行事	4/16 5/14 9/10 10/8-9 12/17 3/18	ほしはら山のがっこう及び周辺地域の自然・農地里山	72	会員及び一般市民（主に親子）303	2456
	主催イベント ②「かけっこスクール」…ふるさと自然の中で主に子どもや親子が体づくりをする	第2・4土曜日計15回	ほしはら山のがっこうと周辺自然	15	会員及び一般市民（主に親子）218	
	主催イベント ③「防災子どもキャンプ」…避難所生活体験・防災の知恵やアイデアを学び合う子ども対象の一泊キャンプ	9/17-18 (台風中止) 3/10-11	ほしはら山のがっこう・上田体育館	15	会員及び一般市民（子ども）34	
	主催イベント ④「若者×ツナグバ」…若者世代と自然・対話・地域をつなぐ大人の林間学校	6/24-25 7/15-16 9/23-24 11/3-4	ほしはら山のがっこう	24	会員及び一般市民（若者）108	
	主催イベント ⑤大自然を体験（会員交流）	7/29-30	乗鞍岳	3	会員32	
地域資源の維持管理・活性化事業	1. 校舎の利活用によるふるさと体験や自然体験、また交流の場の提供	通年	校舎及び校庭	220	会員及び一般市民（内、宿泊体験）1833（738）	951
	2. 体育館の利活用による健康づくりや福祉増進、まちづくりの促進	通年	上田体育館	36	会員及び一般市民835	60
	3. 地域を活性化する住民活動の場づくり「川西の歌づくり・合唱隊活動」	通年	川西自治会館・川西郷の駅	20	会員及び一般市民（主に川西地域住民）546	516

(2) その他の事業 なし

平成 29 年度 活動 計算 書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 ほしはら山のがっこう  
(単位：円)

科目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	290,000		290,000
賛助会員受取会費	107,000		107,000
2. 受取寄付金			
受取寄付金	58,931		58,931
3. 受取助成金等			
受取助成金	500,000		500,000
受取補助金	624,600		624,600
4. 事業収益			
体験ツアー事業収益	1,416,200		1,416,200
自主事業収益	1,774,792		1,774,792
5. その他収益			
受取利息	18		18
雑収入	191,000		191,000
経常収益計	4,962,541	0	4,962,541
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
雑給	865,100		865,100
福利厚生費	17,920		17,920
人件費計	883,020	0	883,020
(2) その他経費			
業務委託費	1,787,938		1,787,938
印刷製本費	161,010		161,010
旅費交通費	15,874		15,874
通信運搬費	25,318		25,318
消耗品費	733,198		733,198
修繕費	6,372		6,372
水道光熱費	87,625		87,625
賃借料	229,089		229,089
減価償却費	40,902		40,902
保険料	33,702		33,702
諸会費	5,000		5,000
研修費	2,700		2,700
支払手数料	1,164		1,164
その他経費計	3,129,892	0	3,129,892
事業費計	4,012,912	0	4,012,912
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	224,400		224,400
福利厚生費	27,847		27,847
人件費計	252,247	0	252,247
(2) その他経費			
旅費交通費	6,940		6,940
通信運搬費	126,025		126,025
消耗品費	14,666		14,666
保険料	54,414		54,414
諸会費	9,000		9,000
支払手数料	135,982		135,982
その他経費計	347,027	0	347,027
管理費計	599,274	0	599,274
経常費用計	4,612,186	0	4,612,186
当期経常増減額	350,355	0	350,355
当期正味財産増減額	350,355	0	350,355
前期繰越正味財産額	2,052,649		2,052,649
次期繰越正味財産額	2,403,004	0	2,403,004

# 平成 29 年度 貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人 ほしはら山のがっこう  
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,971,366		
未収金	165,000		
流動資産合計		2,136,366	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物付属設備	266,638		
有形固定資産計	266,638		
固定資産合計		266,638	
資産合計			2,403,004
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
1. 正味財産			
前期繰越正味財産			2,052,649
当期正味財産増減額			350,355
正味財産合計			2,403,004
負債及び正味財産合計			2,403,004

## 財務諸表の注記

特定非営利活動法人 ほしはら山のがっこう

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

- ・有形固定資産  
法人税法に規定する法定償却方法を採用しています
- ・無形固定資産  
法人税法の規定による定額法を採用しています

### 2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです

科 目	体験交流ツーリズム	主催事業	事業部門計	管理部門	合 計
<b>I 経常収益</b>					
1. 受取会費			0	397,000	397,000
2. 受取寄付金			0	58,931	58,931
3. 受取助成金等	60,000	1,064,600	1,124,600		1,124,600
4. 事業収益	1,416,200	1,774,792	3,190,992		3,190,992
5. その他収益	120,000		120,000	71,018	191,018
経常収益計	1,596,200	2,839,392	4,435,592	526,949	4,962,541
<b>II 経常費用</b>					
(1) 人件費					
給料手当	291,900	573,200	865,100	224,400	1,089,500
福利厚生費		17,920	17,920	27,847	45,767
人件費計	291,900	591,120	883,020	252,247	1,135,267
(2) その他経費					
業務委託費	240,000	1,547,938	1,787,938		1,787,938
印刷製本費		161,010	161,010		161,010
旅費交通費		15,874	15,874	6,940	22,814
通信運搬費		25,318	25,318	126,025	151,343
消耗品費	134,790	598,408	733,198	14,666	747,864
修繕費	6,372		6,372		6,372
水道光熱費	85,407	2,218	87,625		87,625
賃借料	229,089		229,089		229,089
減価償却費	40,902		40,902		40,902
保険料	13,952	19,750	33,702	54,414	88,116
諸会費	5,000		5,000	9,000	14,000
研修費		2,700	2,700		2,700
支払手数料	516	648	1,164	135,982	137,146
その他経費計	756,028	2,373,864	3,129,892	347,027	3,476,919
経常費用計	1,047,928	2,964,984	4,012,912	599,274	4,612,186
当期経常増減額	548,272	△ 125,592	422,680	△ 72,325	350,355

## 財務諸表の注記

特定非営利活動法人 ほしはら山のがっこう

### 3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

(単位：円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
平成29年度『ひろしまとやま未来2017』 【コロナシ応援プロジェクト】補助金 /ひろしま里山交流プロジェクト実行委員会	0	227,600	227,600	0	
平成29年度三次市地域力向上支援事業 補助金 /三次市	0	232,000	232,000	0	
若者×ツナグバ 助成金 /公益財団法人 マツダ財団	0	500,000	500,000	0	
平成29年度青少年体験活動 補助金 /三次市	0	105,000	105,000	0	
自治活性化補助金 /三次市	0	60,000	60,000	0	
合計	0	1,124,600	1,124,600	0	

### 4. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産	0					
建物付属設備	563,000	0		563,000	296,362	266,638
合計	563,000	0	0	563,000	296,362	266,638



平成 29 年度 財産目録

平成 30 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人 ほしはら山のがっこう  
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	52,163		
JA普通預金	1,779,523		
ゆうちょ銀行	139,680		
未収金			
青少年体験活動補助金/三次市	105,000		
体育館管理料/三次市	60,000		
流動資産合計		2,136,366	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物付属設備 (校舎の利用洗面台)	266,638		
有形固定資産計	266,638		
固定資産合計		266,638	
資産合計			2,403,004
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			2,403,004